

## 8.9 自然との触れ合い活動の場

### 8.9.1 調査事項

調査事項は、表 8.9-1 に示すとおりである。

表 8.9-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事用車両の走行の状況</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低公害型の工事用車両を極力採用し、良質な燃料を使用するとともに、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底し、大気汚染、騒音・振動の低減に努める。</li> <li>・計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う大気汚染、騒音・振動の低減に努める。また、適宜清掃員を配置し、清掃に努める。</li> <li>・工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底するよう運転者への指導を徹底する。</li> </ul>

### 8.9.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

### 8.9.3 調査手法

調査手法は、表 8.9-2 に示すとおりである。

表 8.9-2 調査手法

調査事項		自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度
調査時点		工事の施行中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	工事中の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、自然との触れ合い活動の状況の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

#### 8.9.4 調査結果

##### (1) 調査結果の内容

###### 1) 予測した事項

###### ア. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

計画地を含む「海の森公園（仮称）」は未公開地であり、計画地北側では公園の整備が順次進められ、植樹や環境イベント等の活動も行われているが、一般の不特定多数の人々の立入りや利用はできない場所となっている。

###### イ. 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

計画地を含む「海の森公園（仮称）」は未公開地であり、計画地北側では公園の整備が順次進められ、植樹や環境イベント等の活動も行われているが、一般の不特定多数の人々の立入りや利用はできない場所となっている。

###### 2) 予測条件の状況

###### ア. 工事用車両の走行の状況

工事用車両の状況は、「8.1 大気等 8.1.4 調査結果 2) 予測条件の状況 ウ. 工事用車両の状況」(p. 41～44 参照) に示したとおりであり、大型車 1,037 台/日、小型車 788 台/日、合計 1,825 台/日であった。

## 3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.9-3 に示すとおりである。

表 8.9-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>低公害型の工事用車両を極力採用し、良質な燃料を使用するとともに、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底し、大気汚染、騒音・振動の低減に努める。</li> </ul>	<p>可能な限り最新の低公害型の工事用車両を採用するよう努めた。また、工事用車両の燃料については、良質な軽油、ガソリンの使用に努めた。</p> <p>朝礼等を通じてアイドリングストップの厳守等、運転者へ指導を行うとともに、アイドリングストップ厳守に関わる掲示を行い、周知・徹底を図った。(写真 8.9-1)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う大気汚染、騒音・振動の低減に努める。また、適宜清掃員を配置し、清掃に努める。</li> </ul>	<p>工事用車両の出入口付近に、交通整理員を配置し、交通渋滞とそれに伴う騒音・振動の低減に努めた。(写真 8.9-2)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両の走行に当たっては、安全走行を徹底するよう運転者への指導を徹底する。</li> </ul>	<p>運転者には、安全走行に関して事前指導し、騒音及び振動の低減に努めた。</p>



写真 8.9-1 アイドリングストップの掲示



写真 8.9-2 交通整理員

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

計画地を含む「海の森公園（仮称）」は未公開地であり、計画地北側では公園の整備が順次進められ、植樹や環境イベント等の活動も行われているが、一般の不特定多数の人々の立入りや利用はできない場所となっている。

以上のことから、予測結果に対してフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

イ. 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度

計画地を含む「海の森公園（仮称）」は未公開地であり、計画地北側では公園の整備が順次進められ、植樹や環境イベント等の活動も行われているが、一般の不特定多数の人々の立入りや利用はできない場所となっている。

ただし、計画地に自然との触れ合い活動の場はないものの、周辺の一般道路を利用する工事車両の運転手に対しては、交通関連法令の遵守や安全運転の励行等の指導を行った。

以上のことから、予測結果に対してフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。